

景況

2012.10月～12月期

天気マークの見方

天気 マーク		
	特に好転	好転
DI値水準	25以上	10～24

まあまあ	悪化	特に悪化
9～▲9	▲10～▲24	▲25以下

DI=(増加・好転などの回答割合)
-(減少・悪化などの回答割合)

「部」で業況改善の兆しあり 製造業・小売業は依然として厳しき続く

当商工会議所が実施した今期(平成24年10月～12月)の中小企業137社の景況調査結果によると、業況DI(前年同期比)は、製造業・サービス業が悪化したものの、それ以外の業種でマイナス幅が縮小したため、全産業の業況DIは▲18.5となり、前期の業況DI▲18.9と比べて、ほぼ同数値となった。業況が拡大した。また、製造業・小売業は、依

況以外のDIを見ると、売上額・資金繰り・採算全てにおいて、やや改善の傾向が見られた。業種別のDI(前年同期比)では、建設業は公共工事の受注増加の影響を受け、やや改善。卸売業も若干の改善が見られた。一方で、サービス業はマイナス幅が拡大した。また、製造業・小売業は、依

④採算	③資金繰り	②売上額	①業況	全産業	
				前年同期比	前期の調査結果
悪化 ▲17.4	まあまあ ▲4.5	悪化 ▲16.3	悪化 ▲18.5	▲22.5	▲15.7
▲17.4	まあまあ 0.0	特に悪化 ▲30.4	特に悪化 ▲30.4	▲16.0	▲9.1
				▲28.0	▲18.2
				▲9.1	▲9.1

④採算	③資金繰り	②売上額	①業況	小売業	
				前年同期比	前期の調査結果
特に悪化 ▲30.8	悪化 ▲15.4	特に悪化 ▲34.6	特に悪化 ▲30.8	▲29.2	▲25.0
悪化 ▲15.0	まあまあ ▲4.9	悪化 ▲22.0	悪化 ▲9.8	▲15.6	▲17.9
				▲6.8	▲7.1
				▲20.0	▲28.6
				▲2.3	▲17.9

④採算	③資金繰り	②売上額	①業況	建設業	
				前年同期比	前期の調査結果
悪化 ▲13.0	まあまあ 0.0	好転 12.5	悪化 ▲12.5	▲35.7	▲17.4
悪化 ▲10.0	まあまあ 0.0	まあまあ 0.0	悪化 ▲14.3	▲20.0	▲5.3
				0.0	15.0
				▲9.5	▲10.0
				▲23.8	▲29.4

然として低調に推移する結果となった。来期(平成25年1月～3月)の全産業の業況DI(見通し)は▲19.0(前期比▲1.7)となり、前回調査時と比較すると、先行きはやや厳しい状況にある。業種別にみると、製造業(前期比+18.2)・小売業(前期比+11.2)は改善の兆しが見られるが、卸売業(前期比▲19.9)・サービス業(前期比▲10.6)・建設業(前期比▲5.8)では悪化を見込んでいる。また、回答先からは「新車販売特需の終了により用品取り付け等の需要が減少した」「現在は、消費税増税を控えた駆け込み需要があるが、増税後が心配される」等のコメントが寄せられた。